



めあて 関数について理解しよう。



教科書 P.107 を読み、下の をうめなさい。

☆ いろいろな値をとる文字を という。

学習のポイント 1

y は x の関数であるとは

とき、 y は x の関数であるという。

☆ 変数のとりうる値の範囲を、その変数の といい、不等号を使って表す。

(例) 変数 x が次のような範囲の値をとるとき、 x の変域を不等号を使って表しなさい。

- (1) 0 以上 10 以下 (2) 4 未満 (3) 0 より大きく 5 以下

(解答)

- (1) $0 \leq x \leq 10$ (2) $x < 4$ (3) $0 < x \leq 5$

ちょっと確認



- | | | |
|------------|-------|----------------------------------|
| $x > a$ | | x は a より大きい |
| $x \geq a$ | | x は a 以上 |
| $x < a$ | | x は a より小さい (x は a 未満) |
| $x \leq a$ | | x は a 以下 |



学習のポイント 2

ともなって変わる 2 つの数量の間に、関数の関係があるかどうか調べてみよう。



はじめに、教科書 P.108 の例 2 を読みましょう。

次に、教科書 P.109 問 6 をやってみましょう。

教科書 P.109

問 6

(解答) Ⓐ , ⓐ , ⓔ

(解説)

ⓐ 同級生は同じ歳であっても、身長はそれぞれ異なる。
年齢を決めても身長は 1 つに決まらないから、関数ではない。

Ⓐ と ⓐ は次のように式を使って x と y の関係を表すことができる。

Ⓐ $y = \pi x^2$

ⓐ $y = \frac{20}{x}$